



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東
 コード番号 6143 URL https://www.sodick.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前島 裕史 TEL 045-942-3111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	53,976	32.5	4,950	498.5	6,077	580.2	4,377	607.2
2020年12月期第3四半期	40,744	△18.0	827	△69.9	893	△65.3	619	△47.4

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 6,623百万円 (-%) 2020年12月期第3四半期 △809百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	84.50	—
2020年12月期第3四半期	13.16	11.30

(注) 2021年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	134,388	70,954	52.8	1,299.97
2020年12月期	116,117	57,976	49.9	1,230.53

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 70,908百万円 2020年12月期 57,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2021年12月期	—	13.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,800	23.7	6,100	229.3	7,000	242.0	4,900	263.8	93.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	58,792,239株	2020年12月期	53,363,016株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	4,246,158株	2020年12月期	6,310,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	51,808,975株	2020年12月期3Q	47,035,303株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済状況は、中国に次いで欧米などの先進国経済の持ち直しなどにより、総じて緩やかな回復基調にあります。今後も経済活動の正常化に伴い、より一層の回復が見込まれる一方で、新型コロナウイルスの感染状況や半導体をはじめとした世界的な部材不足など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループは、2019年2月に長期経営計画「Next Stage 2026 ～Toward Further Growth～」を掲げ、「創造」「実行」「苦労・克服」という創業精神を基盤に豊かな未来につながる技術を磨き、ものづくりを通して持続可能な社会の実現にチャレンジしています。

営業・サービス活動におきましては、新型コロナウイルス感染防止策を十分に施した上で「名古屋プラスチック工業展2021」において、新たに開発した堅型射出成形機「TR40VRE2」や電動射出成形機を出展し、ソディックブランドの浸透と拡販に努めました。今後もコロナ禍の状況を考慮しつつ、リアルでの展示会にも出展を増やすほか、引き続きWeb展示会の更なるコンテンツの追加やリモートツール等のITを活用した活動の強化に努めてまいります。

研究開発におきましては、長時間高速安定造形に対応した新製品金属3Dプリンタ「LPM325S」を開発しました。本製品は従来の鉄系・ステンレス系の粉末に加え、アルミニウムやチタン粉末による造形も可能となりました。また、独自開発の粉末自動供給、自動回収、自動ふるい用のユニットを標準装備したことにより、粉末交換作業の簡易化を実現し、生産性の向上に貢献します。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高539億76百万円（前年同四半期比32.5%増）、営業利益49億50百万円（前年同四半期比498.5%増）、経常利益60億77百万円（前年同四半期比580.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億77百万円（前年同四半期比607.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

工作機械事業	売上高	37,248百万円	(前年同期比 41.5%増)
	営業利益	5,260百万円	(前年同期比 3,585百万円増)
中華圏において自動車や電子部品、5G関連、半導体関連分野で引き続き堅調であり、日本及び欧米での持ち直しの動きが継続した結果、売上高は前年同期比で増加しました。セグメント利益においても販売台数の増加に伴う工場の収益性向上等により前年同期比で大幅に増加しました。一方で、足元での受注は堅調に推移しているものの、半導体をはじめとする部材調達への逼迫等によりリードタイムの長期化や中国での電力不足による影響が懸念される状況であります。			
産業機械事業	売上高	6,928百万円	(前年同期比 13.9%減)
	営業利益	274百万円	(前年同期比 96百万円減)
北米の医療関係は好調が継続したほか、第3四半期においては日本での自動車や電子部品向けの需要も緩やかに回復しました。しかし、中華圏の需要に一服感がみられたことに加え、前年第4四半期における短納期対応の影響により第1四半期の売上が低調に推移したため、売上高は前年同期比で減少しました。			
食品機械事業	売上高	5,063百万円	(前年同期比 127.8%増)
	営業利益	566百万円	(前年同期比 538百万円増)
各種製麺機、麺製造プラント、無菌包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っています。衛生面及び省人化対応設備や外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した案件が継続したほか、海外においても製麺機や米飯製造装置の販売があった結果、売上高は前年同期比で増加しました。			
その他	売上高	4,735百万円	(前年同期比 13.9%増)
	営業利益	688百万円	(前年同期比 376百万円増)
精密コネクタなどの受託生産を行う精密金型・精密成形事業、リアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されています。情報通信設備の需要増を反映してセラミックスの需要も増加しています。金型成形事業においては、自動車産業の需要に持ち直しの動きが見られるものの、先行きは不透明の状況が続いています。			

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、182億71百万円増加し、1,343億88百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加98億81百万円、原材料及び貯蔵品の増加27億66百万円、受取手形及び売掛金の増加22億92百万円などがあげられます。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、52億93百万円増加し、634億33百万円となりました。主な増加要因としては、その他の流動負債の増加57億21百万円、電子記録債務の増加32億35百万円、長期借入金の増加22億96百万円、支払手形及び買掛金の増加21億58百万円などがあげられますが、1年内償還予定の社債の減少79億81百万円などにより一部相殺されております。

純資産は前連結会計年度末と比較して、129億78百万円増加し、709億54百万円となりました。主な増加要因としては、資本剰余金の増加38億61百万円、資本金の増加38億33百万円、為替換算調整勘定の増加20億84百万円などがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,920	48,802
受取手形及び売掛金	13,268	15,561
電子記録債権	2,149	2,332
商品及び製品	7,668	8,778
仕掛品	7,159	8,833
原材料及び貯蔵品	6,492	9,259
その他	2,508	3,554
貸倒引当金	△214	△268
流動資産合計	77,954	96,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,136	28,579
機械装置及び運搬具	21,095	21,630
その他	14,414	15,014
減価償却累計額	△33,287	△35,562
有形固定資産合計	30,358	29,661
無形固定資産		
のれん	1,336	1,263
その他	892	977
無形固定資産合計	2,228	2,241
投資その他の資産		
その他	5,632	5,685
貸倒引当金	△57	△52
投資その他の資産合計	5,575	5,632
固定資産合計	38,162	37,535
資産合計	116,117	134,388

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,297	6,456
電子記録債務	3,870	7,105
短期借入金	2,719	2,263
1年内償還予定の社債	8,121	140
1年内返済予定の長期借入金	6,743	6,364
未払法人税等	401	1,022
引当金	913	1,083
その他	5,079	10,801
流動負債合計	32,146	35,236
固定負債		
社債	720	650
長期借入金	23,081	25,378
引当金	212	189
退職給付に係る負債	592	649
資産除去債務	64	65
その他	1,322	1,264
固定負債合計	25,993	28,197
負債合計	58,140	63,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,785	24,618
資本剰余金	5,877	9,739
利益剰余金	33,787	35,389
自己株式	△4,566	△3,073
株主資本合計	55,884	66,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	596	686
為替換算調整勘定	1,746	3,831
退職給付に係る調整累計額	△328	△283
その他の包括利益累計額合計	2,014	4,234
非支配株主持分	77	46
純資産合計	57,976	70,954
負債純資産合計	116,117	134,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	40,744	53,976
売上原価	27,885	35,403
売上総利益	12,859	18,572
販売費及び一般管理費		
人件費	5,407	5,897
貸倒引当金繰入額	64	42
その他	6,560	7,680
販売費及び一般管理費合計	12,032	13,621
営業利益	827	4,950
営業外収益		
受取利息	199	207
受取配当金	108	48
為替差益	—	613
持分法による投資利益	36	42
助成金収入	235	342
その他	162	184
営業外収益合計	742	1,439
営業外費用		
支払利息	209	237
為替差損	280	—
貸倒引当金繰入額	41	0
その他	144	74
営業外費用合計	676	312
経常利益	893	6,077
特別利益		
固定資産売却益	26	20
補助金収入	—	25
その他	1	—
特別利益合計	27	45
特別損失		
固定資産売却損	1	16
固定資産除却損	18	27
固定資産圧縮損	—	25
その他	1	1
特別損失合計	22	70
税金等調整前四半期純利益	898	6,051
法人税、住民税及び事業税	673	1,629
法人税等調整額	△386	24
法人税等合計	286	1,654
四半期純利益	612	4,397
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	619	4,377

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	612	4,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△308	89
為替換算調整勘定	△1,087	2,054
退職給付に係る調整額	△13	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	36
その他の包括利益合計	△1,422	2,226
四半期包括利益	△809	6,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△802	6,597
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

- (1) 当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、会社法第178条の規定により、自己株式2,000,000株の消却を行うことを決議し、2021年2月26日付で実施致しました。

利益剰余金の減少額 1,447百万円

自己株式の減少額 1,447百万円

- (2) 当社が2016年4月18日に発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債について、第2四半期連結累計期間において新株予約権の権利行使が行われました。

資本金の増加額 3,833百万円

資本剰余金の増加額 3,833百万円

- (3) 当社は、2021年4月16日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月7日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式65,900株の処分を行いました。

資本剰余金の増加額 21百万円

自己株式の減少額 47百万円

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が24,618百万円、資本剰余金が9,739百万円、利益剰余金が35,389百万円、自己株式が3,073百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,317	8,045	2,223	36,586	4,158	40,744	—	40,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	28	—	90	1,243	1,334	△1,334	—
計	26,380	8,073	2,223	36,677	5,401	42,079	△1,334	40,744
セグメント利益	1,675	370	27	2,073	312	2,385	△1,558	827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,558百万円には、セグメント間取引消去△39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,518百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,248	6,928	5,063	49,240	4,735	53,976	—	53,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	67	—	122	1,753	1,876	△1,876	—
計	37,303	6,996	5,063	49,363	6,489	55,852	△1,876	53,976
セグメント利益	5,260	274	566	6,101	688	6,790	△1,839	4,950

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,839百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,813百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の消却)

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、今回取得する自己株式の全数を消却することを決議いたしました。

①自己株式の取得及び消却を行う理由

株主還元強化及び経営環境の変化に対応した機動的資本政策により、株式価値の向上を図るため、自己株式の取得及び消却を行うものです。

②取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 50万株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合0.91%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 5億円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2021年11月15日～2021年12月15日 |
| (5) 取得方法 | 株式会社東京証券取引所における市場買付 |

③消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|-------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 上記②により取得する自己株式の全数 |
| (3) 消却予定日 | 2021年12月28日 |